

1) 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

・多職種連携コアスタッフの会での地域の課題の抽出と解決策の検討

在宅医療連携拠点事業「たんぽぽ」では、重点ポイントに対してアクションプランを定めている。まず地域の在宅医療に携わる多職種が一堂に会するコアスタッフの会を年7回開催し、顔が見える関係作りを行い、信頼しあえる関係作りの基盤を作る。参加職種は医師、訪問看護師、地域包括支援センター、行政、病院連携室、訪問リハビリ、ケアマネージャー、福祉相談支援、介護事業所、有料老人ホーム、グループホーム、鍼灸マッサージ、在宅医療機器業者、福祉用具業者、マスコミの15業種32人で構成されている。具体的には在宅医療の課題を5つのカテゴリー（①退院支援②日常の療養支援③急変時の対応④看取り）に分け、各職種が患者のQOLや満足度を重視し、住み慣れた場所で安心して生活することを支える為に多職種連携をする上での困難さや障害となることを、5グループに分かれて問題抽出法を用いて明らかにし、継続的に実施可能な解決策を検討する。

・同職種間の顔の見える関係と仲間作り

在宅医療の各職種は地域内で、連絡会などの横の連携がとれている職種とそうでない職種がある。様々な職種の連携を深めていくと同時に、同職種内の横のつながりや情報共有も大切である。同職種内での連絡会などの組織ができていない職種では、連絡会の立ち上げ等のお手伝いをする。また平成25年3月に当法人主催で開催する日本在宅医学会では、各職種交流会を目指し、それぞれ地域内の事業所にアンケートを行い課題ややりがいなどを抽出し、解決策を検討すると同時にモチベーションを高める。日本在宅医学会で行われる職種交流会は①訪問薬剤師交流会②訪問リハビリ交流会③訪問薬剤師交流会④在宅クリニック事務交流会⑤ケアマネージャー交流会⑥訪問鍼灸マッサージ交流会⑦訪問介護ヘルパー交流会となっている。

・連携拠点ホームページ

連携拠点たんぽぽのホームページを立ち上げ、連携拠点の活動紹介や地域連携の情報提供や顔の見える連携促進に役立てる。ホームページの内容は①在宅医療連携拠点事業とは②在宅医療連携拠点たんぽぽの活動紹介③愛媛県の医療・介護・福祉に関する研修会情報④クローズアップ連携（各事業所の施設事業所を取材して紹介）⑤各職種連携リンク⑥WEB情報管理システムの紹介⑦看取りのパンフレットの申し込み⑧相談窓口となっている。